

平成27年度 大八まちづくり協議会 事業報告書

※評価の基準

◎予定通り終了、成果あり次年度も継続 ○事業は終了したが課題あり、改善を進めながら継続。

△今年は着手できなかった又は着手した終了できない 次年度の課題とする。

×廃止を含めて大幅な見直しが必要

部会	開催	事業名	事業目的・事業概要	評価	成果と課題
本部	会議等 ・毎月定例会議 12回 ・臨時会議 6回 ・打合せ会議 多数	役員会議	・課題解決の具体的方策を協議 ・役員会提案の策定 ・市役所等…外部団体との渉外、連携に対応 ・本部役員、会長決済事項の確認	○	【成果】 ・ネット連絡を中心に効率的に打ち合わせを確認し会議の回数を削減できた。 ・欠席しても事務局で伝達ができるシステムが仕事を持つ役員の負担を軽減させた。 (課題) ・各部に派遣する担当本部役員の立場を明確にする。適切な派遣方法に配慮する。
	通年	事務、環境整備	・事務室、会議室のインフラ整備。 ・協議会員の活動備品の整備。	◎	【成果】 ・事務室が整備され小会議、事務作業等、利便性が向上した。 ・ネットワーク整備により連絡、資料送信等が能率的に行える。 ・除雪用ペイローダー、卓球台、バレー、バドミントン支柱、屋外用テント、会議用長机等、会員の活動備品が充実した。 ・東山中の協力で「まち協専用の体育用具室や物置」が設置できた。 (課題) :事務拠点は整備された。今後、会員の「 <u>活動拠点</u> 」の整備に着手する。
	6月 2月 3月	役員等研修視察【まち協全役員・全委員対象】	・自主振興活動先進地に向き、情報交流会を行いまちづくりの一助とする。 ・役員のみちづくりビジョンを拡大する。 ①福井県越前市岡本地区 ②三重県伊賀市島ヶ原地区 ③可児市若葉台自治区	○	【成果】 ・研修視察を本部で一括企画運営した事で費用の節約と視察の効率化を進める事が出来た。 ・研修先のねらいが明確であった為、視察目的は達成できた。 (課題) :視察で学んだ内容を精査してできる事は <u>地域で具体的に生かす。</u>
	通年	まちづくり計画策定(ファーストステップ→地域を知る・地域の声を聴く)	・役員の研修機会。 ・地域住民の声を聞く。 ・中期的ビジョンを作成する ※岐阜県の「地域課題解決活動応援事業」の指定を受け県の支援で年間4回の支援スキームを実施した。	◎	【成果】 ・市開催の3回のワークショップ研修会に役員を派遣し今後地域で開催した際の人材を育成した。 ・地域で3回のワークショップ開催、延べ約60人の地域の声を具体的に聞くことができ一歩踏み出した。 ・予算や事業計画に3年間を基準に年度計画を策定し事業の計画性を明確にした。 (課題) :今後は町内会等でワークショップを開催し、いっそう地域の声を多く聞くことにより地域課題を把握し、地域コミュニケーションを深める。

	通年	自主運営グループ育成支援	・同好者が集まり自主運営クラブを組織し継続的に行い、仲間を増やす活動団体を支援する。	○	【成果】 ・既存6団体は良好に活動を拡大して、地域の大会等も積極的に運営した。 (課題) ・新規団体を拡大していく。
	3月12日	各町内外灯電気料負担	・従来市が補助していた各町内の外灯電気代をまちづくり協議会で負担する。	◎	【成果】 ・全町内会の外灯(防犯灯)電気料金を100%交付した。 ・町内との信頼関係を基本に提出書類簡略化を推進した。 (課題) : 交付時期やLED化推進を考慮し100%負担(負担率)を再考する。
	10月1日	各町内自治活動保険料負担	・従来町連で負担していた町内会自治活動保険料を負担する。	○	【成果】 ・10月の契約更改時に実施した。 (課題) : 実際にこの保険の運用実態や必要性について再考する。
	通年	まち協員労務管理	・事務局長、賃金雇用職員の労務管理や賃金管理	○	【成果】 ・常勤職員の労務管理(社保・年金等)、非常勤職員の賃金管理も適切に処理できた。 (課題) : 各部の事業拡大により専門指導員等の雇用も増える。全体支出バランスを考慮し整備する。
	通年	財政出動状況の健全化	・支援金と自主財源の用途を明確にし、健全な支出行為を実行する。	○	【成果】 ・支援金の支出は財務長の指導で各部が管理責任を的確に果たした。 ・財務長、事務局長、事務職員が連携し適宜チェックを実施している (課題) : 会の自主財源については使用目的が不明確であった為多くを交流会費(懇親会)交際費等に充当した。 : 各部各委員会の会計管理が担当者の大きな負担になっているので、会計管理方法を見直す。
広報部	通年 ・部会議 →4回開催 ・役員打ち合わせ会 →多数実施 各委員会 →委員会ごとに多数開催	役員会議	・課題解決の具体的方策を協議 ・役員会提案の策定 ・市役所等…外部団体との渉外、連携に対応 ・本部役員、会長決済事項の確認 ・まち協の研修視察参加。 ・まち協の研修会、合同フォーラムに参加	○	【成果】 ・ネット連絡を中心に効率的に打ち合わせを確認し会議の回数を削減できた。 ・欠席しても事務局で伝達ができるシステムが仕事を持つ役員の負担を軽減させた。 (課題) ・各部に派遣する担当本部役員の立場を明確にする。適切な派遣方法に配慮する。
	毎月発行 計12回	広報誌発行	・広報紙「ふるさと大八」を毎月1回全戸配布し、協議会や会員の活動、行事の募集等を広く地域住民に発信する。 ・町内会等、地域の様子を地域に発信する。	○	【成果】 ・見易さ、レイアウト等も好評であった。 ・募集を含め多くのチラシの配布、回覧を改善し「ふるさと大八」のみで情報の一元化を図り町内の配布負担を軽減した。 (課題) ・町内会非加入者に配布されない。

				・広報紙の完成日や町内会の回覧事情により <u>広報紙が住民の手に渡る日が違う</u>
	通年	ホームページ開設、更新	・まちづくり協議会のホームページを整備リアルタイムの情報提供や意見収集等、双方向通信を行う。	△ 【成果】 ・作成し、徐々に更新を行っている。 (課題) :広報紙「ふるさと大八」の作成発行の負担が大きく、積極的な更新や住民との双方向の情報交流に着手できない。
社会教育部	通年 ・部会議 →4回開催 ・役員打ち合わせ会 →多数実施 各委員会 →委員会ごとに多数開催	役員会議	・課題解決の具体的方策を協議 ・役員会提案の策定 ・市役所等…外部団体との渉外、連携に対応 ・本部役員、会長決済事項の確認 ・まち協の研修視察参加。 ・まち協の研修会、合同フォーラムに参加	○ 【成果】 ・ネット連絡を中心に効率的に打ち合わせを確認し会議の回数を削減できた。 ・欠席しても事務局で伝達ができるシステムが仕事を持つ役員の負担を軽減させた。 (課題) ・組織が大きくなり全体の意思疎通が困難となっている。
	・通年 ・	講座・行事 開催事業	・一人ひとりの文化・教養向上、子どもの体験活動、健康促進、スポーツ活動、高齢者の生きがい活動等…地域住民を対象に幅広い講座や教室を開催する :文化・教養委員会 :スポーツ・健康委員会 :こども育成委員会 :女性委員会 :シニア委員会 :家庭教育委員 の6委員会で開催。	○ 【成果】 ・前年度を踏襲しただけで無く、反省を生かし <u>一步進んだ講座、教室を企画運営</u> できた。 ・活動後必ず参加者のアンケート等…を行い、 <u>事業評価を実施</u> して次年度に活かしていく。 ・一つの活動に必ず事業計画を賛成し活動の目的や方法を明確にした。 ・シニアグラウンドゴルフ活動とソフトバレー・ソフトミニバレー大会については地域の愛好者グループとスポーツ・健康委員会の共催で開催した。参加人数やチームも多く <u>新しい開催方法のモデル</u> となった。 (課題) :主催事業を減らし活動団体、グループ等を人的、財政的に支援していく方法に転換していく。 ・町内からの派遣委員数を必要最低限に改定し、町内役員負担を軽減する。 : <u>子どもの活動については可能な限り3地区(大八、東、岩滝)で連携</u> する。
	通年	家庭教育 充実	・学校、PTA、地域の連携を図ると共に東地区、岩滝地区関係者とも連携を図り協働して家庭教育の充実を図る。 ・夏季休業中に寺子屋イン大八(児童体験学習)を行う。 ・3校のPTAと連携し児童生徒の保護者を対象にした子育て講演会を開催	△ 【成果】 ・夏休みに「 <u>寺子屋イン大八</u> 」を開催4回のプログラムで延べ30人の小4から小6までの児童が参加した (課題) :寺子屋はプログラムは充実していたが事前の募集活動が遅かったため子どもの参加が少なかった。 :家庭教育講演会は今年度は開催できなかった。 :家庭教育については今後の大切な分野であり、 <u>専門指導員を配置し積極的に推進</u> する。
通年	シニア活動 充実	・高齢者活動(文化・教養、健康)の自主運営化と継続	◎ 【成果】	

		化を図るシニア学級を開催する。		・当初一般募集で5名の参加で始まったが徐々に <u>参加者が増え最終的20名</u> となった。 (課題) ・活動の充実に伴い経費(バスの使用料等)も増大していく、コストバランスを考慮する。 ・スポーツ・健康委の屋間の健康体操教室等、他の委員会との活動連携を図る。
通年	地域コミュニティバス運行事業	・活動への参加支援として必要に応じてしコミュニティバスを運行する。	△	【成果】 ・シニア学級では効果的な運用ができた。 (課題) :シニア活動では必要に応じて活用するがその他の運用については再検討する。
通年 ・部会議 →4回開催 ・ふれあいまつり実行委 →4回開催 ・丹生川合同会議 →3回開催	役員会議	・部会の事業計画、運営方法を具体的に協議する。 ・部会事業の反省評価する ・本部役員や他部会との情報共有を行う。 ・部会の会計確認を行う。 ・まち協の研修視察参加。 ・まち協の研修会、合同フォーラムに参加	○	【成果】 ・大八ふれあいまつりの実行委員会では公民館祭りのノウハウを持つ 社会教育部会と地域交流部会 で協力し一体感のある協議ができた。 (課題) ・ネット連絡等を活用し会議をいっそう効率化する。
10月18日 ・実行委員会 6回開催	大八ふれあいまつり開催	・地域住民に広く呼びかけ、地域住民の多くが参画し一体感がもてるイベントを開催する	◎	【成果】 ・約1300人程度の参加があった。 ・ <u>プロの司会者の登用、芸人の出演により楽しく、充実した内容</u> となった。 ・地域交流部と社会教育部が連携し全組織が参加して実施した。 ・地域企業後援(景品)もあり抽選券サービスは好評だった。 (課題) ・芸能発表と作品展示等が同一会場の為、雑然とした。 ・芸能発表は児童生徒が中心で地域の成人層の活動が少なかった。今後は参加の啓発と共に地域グループの育成支援も実施する。 ・ <u>若者層(高校生以上)の参加がステージ、バザー、作品展示、共に極めて少なかった。</u>
6月～11月 ・合同会議→3回開催 ・合同映画鑑賞会→3回 ・合同フォーラム→1回	元気いっぱい事業	・地域の活性化と隣接地域との交流を図るため協働して講演会や実践発表等を含めた地域間交流フォーラムを開催する。 ①隣接の丹生川まち協と連携し丹生川文化ホールを活用した合同の映画鑑賞会を開催 ②丹生川の団体をが八ふれあいまつりに参加。 ③丹生川と合同のまちづくりフォーラムを開催する。	◎	【成果】 ・3回の合同映画鑑賞会で大八から約160人が参加した。特に夏休みの子供向け映画では親子100人が参加した。 ・まちづくりフォーラムは役員・委員が大八約30人参加「今後のまちづくり」をテーマにワークショップを開催した。 ・地域差を超えた論議ができた。 ・ <u>共通課題は「いっそうコミュニケーションを深める」</u> だった。 (課題) ・大八ふれあいまつりに若者層(高校生以上)の参画を進める。 ・合同映画上映会は芸術鑑賞会とし、映画以外のジャンル(演劇・音楽等)も考慮すると共に <u>企画段階から合同で行う。</u>

					・隣接する「空町まち協」「岩滝まち協」との連携を行う。
環境部	通年 ・部会議 →4回開催 ・役員打ち合わせ会 →多数実施 ・各委員会 →委員会ごとに多数開催	役員会議	・部会の事業計画、運営方法を具体的に協議する。 ・部会事業の反省評価する ・本部役員や他部会との情報共有を行う。 ・部会の会計確認を行う。 ・まち協の研修視察参加。 ・まち協の研修会、合同フォーラムに参加	○	【成果】 ・ネット連絡を中心に効率的に打ち合わせを確認し会議の回数を削減できた。 ・補助金交付に関して、審査、現地確認、交付、報告等…大変であったが交付団体に喜んで頂いた。 (課題) ・事業を役員・委員が役割分担し、会議の数を減らす。
	5月～2月 ・1 団体補助	地域自然公園整備補助	・町内や団体で地域の自然公園を整備する活動に対し補助金を交付する。 ・役員現場視察	○	【成果】 ・くぬぎ公園愛護会に補助をした。補助金でくぬぎ公園の環境が整備された。 (課題) ・整備補助団体を2団体に増やし、決定プロセスを明確にするため募集方法を検討する。
	4月～6月 ・8 団体	花づくり団体への花壇整備補助事業	花作り運動を推進している地区、団体の花壇整備補助する。 :補助金審査、現地視察	◎	【成果】 ・地域説明会や東小、東山中直接訪問説明を実施したことにより事業趣旨が理解され、 花づくり団体は3団体から8団体増加 し関心が高い。
	4月～3月	町内ゴミステーション設置補助	・ゴミステーションを設置し周辺の美化及び集積されたゴミに鳥獣を寄せ付けない事を目的に新設する町内に補助する。 :補助金審査、現地視察等	○	【成果】 ・地域説明会を実施。 ・3町内8箇所に対応。 ・ 地域住民の関心は極めて高い。 (課題) ・補助金だけでなく町内会の予算が必要なので早めに照会を行う。
安全・安心部	通年 ・部会議 →4回開催 ・関係団体会議(消防団・民生児童委員会・交通安全協会・見守り推進会)	役員会議	・部会の事業計画、運営方法を具体的に協議する。 ・部会事業の反省評価する ・本部役員や他部会との情報共有を行う。 ・部会の会計確認を行う。 ・まち協の研修視察参加。 ・まち協の研修会、合同フォーラムに参加 ・関係団体の情報共有	○	【成果】 ・様々な関係団体の情報共有ができた ・可児市視察で高齢化対策モデルを学習した。今後に生かす。 ・ 福祉関係の情報収集と共有 ができた ・大八ふれあいまつりに消防署、交番による啓発活動を実施した。 (課題) ・福祉面でどの 大八地域に 適している 支援方法 を検討協議する。
	10月	安全・安心啓発活動	・安全・安心についての講演会を開催し部員や地域緒住民の意識向上を目指す。	△	(課題) ・今年度実施できなかった。 ・どんな活動が啓発につながるかを再検討して実施する。
地域課題部	4月～3月	・部会、委員会、役員会、反省会等実施	・様々な地域課題を把握する為の会議を開催する	△	【成果】 ・部会内で地域の様々な課題について、協議できた。 (課題) ・ 町内会での懇談会やワークショップ等を開催し 、地域課題をくみ上げると共に、地域の声を聴く。
	4月～3月	東山中学冬季通学検討委員会	・東山中学の冬季間通学困難地区の問題について協議する。	◎	【成果】 ・単独町内の課題から、地域全体の課題へと広がり、まち協全体につなげていく内容へと発展した。

H27年度 大八まちづくり協議会 収支決算書

【収入】

単位:円

区分	変更前 予算額	補正額	変更後 予算額	決算額	差引額	内訳
市まちづくり支援金	13,900,000	-740,000	13,160,000	13,160,000	0	
町内まちづくり協議会	1,211,000	-7,700	1,203,300	1,203,300	0	700円×1719世帯
受益者負担金	0	726,535	726,535	726,535	0	講座参加費、バス収入、映画入場料等
雑収入	1,000	59,620	60,620	60,620	0	他団体等事務機器使用料、利息、ふれあい祭り協賛金
合計	15,112,000	38,455	15,150,455	15,150,455	0	

【支出】

単位:円

事業・科目	変更前 予算額		補正額		変更後 予算額		決算額		差引額	内訳
	支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額			
本部	7,569,000	7,047,000	2,997,708	2,960,692	10,566,708	10,007,692	10,566,708	10,007,692	0	0
組織運営費	5,999,000	5,477,000	3,109,383	3,072,367	9,108,383	8,549,367	9,108,383	8,549,367	0	0
人件費	3,210,000	3,210,000	1,078,792	1,078,792	4,288,792	4,288,792	4,288,792	4,288,792	0	0
旅費	300,000	300,000	376,921	376,921	676,921	676,921	676,921	676,921	0	0
需用費	799,000	277,000	1,312,571	1,275,555	2,111,571	1,552,555	2,111,571	1,552,555	0	0
役務費	200,000	200,000	-53,530	-53,530	146,470	146,470	146,470	146,470	0	0
委託費	100,000	100,000	102,194	102,194	202,194	202,194	202,194	202,194	0	0
使用料及び賃借料	240,000	240,000	-88,800	-88,800	151,200	151,200	151,200	151,200	0	0
備品購入費	700,000	700,000	740,570	740,570	1,440,570	1,440,570	1,440,570	1,440,570	0	0
団体育成交付金	300,000	300,000	-209,335	-209,335	90,665	90,665	90,665	90,665	0	0
まちづくり計画策定	150,000	150,000	-150,000	-150,000	0	0	0	0	0	0
町内交付金	1,570,000	1,570,000	-111,675	-111,675	1,458,325	1,458,325	1,458,325	1,458,325	0	0
外灯電気代補助	1,320,000	1,320,000	-99,335	-99,335	1,220,665	1,220,665	1,220,665	1,220,665	0	0
自治活動保険料	250,000	250,000	-12,340	-12,340	237,660	237,660	237,660	237,660	0	0
各部予算	7,543,000	6,853,000	-3,270,157	-3,700,692	4,272,843	3,152,308	4,272,843	3,152,308	0	0
広報部	605,000	555,000	-329,889	-309,889	275,111	245,111	275,111	245,111	0	0
総務費	130,000	80,000	-100,000	-80,000	30,000	0	30,000	0	0	0
旅費	50,000	50,000	-50,000	-50,000	0	0	0	0	0	0
需用費	70,000	20,000	-40,000	-20,000	30,000	0	30,000	0	0	0
使用料及び賃借料	10,000	10,000	-10,000	-10,000	0	0	0	0	0	0
広報紙発刊事業	460,000	460,000	-228,281	-228,281	231,719	231,719	231,719	231,719	0	0
印刷費	460,000	460,000	-228,281	-228,281	231,719	231,719	231,719	231,719	0	0
ホームページ事業	15,000	15,000	-1,608	-1,608	13,392	13,392	13,392	13,392	0	0
役務費	15,000	15,000	-1,608	-1,608	13,392	13,392	13,392	13,392	0	0
社会教育部	2,815,000	2,505,000	-1,340,610	-1,520,710	1,474,390	984,290	1,474,390	984,290	0	0
総務費	645,000	335,000	-361,864	-201,864	283,136	133,136	283,136	133,136	0	0
旅費	200,000	200,000	-200,000	-200,000	0	0	0	0	0	0
需用費	370,000	60,000	-100,464	59,536	269,536	119,536	269,536	119,536	0	0
役務費	25,000	25,000	-25,000	-25,000	0	0	0	0	0	0
使用料及び賃借料	50,000	50,000	-36,400	-36,400	13,600	13,600	13,600	13,600	0	0
講座・行事開催	1,470,000	1,470,000	-697,027	-1,037,127	772,973	432,873	772,973	432,873	0	0
報償費	800,000	800,000	-651,392	-651,392	148,608	148,608	148,608	148,608	0	0
需用費	320,000	320,000	87,845	-252,255	407,845	67,745	407,845	67,745	0	0
委託費	350,000	350,000	-133,480	-133,480	216,520	216,520	216,520	216,520	0	0
地域コミュニケーション運行	300,000	300,000	-80,714	-80,714	219,286	219,286	219,286	219,286	0	0
委託費	300,000	300,000	-80,714	-80,714	219,286	219,286	219,286	219,286	0	0
シニア活動事業	150,000	150,000	-18,726	-18,726	131,274	131,274	131,274	131,274	0	0
報償費	100,000	100,000	-56,824	-56,824	43,176	43,176	43,176	43,176	0	0
需用費	50,000	50,000	22,812	22,812	72,812	72,812	72,812	72,812	0	0
役務費	0	0	15,286	15,286	15,286	15,286	15,286	15,286	0	0
家庭教育充実事業	250,000	250,000	-182,279	-182,279	67,721	67,721	67,721	67,721	0	0
報償費	100,000	100,000	-68,819	-68,819	31,181	31,181	31,181	31,181	0	0
需用費	150,000	150,000	-113,460	-113,460	36,540	36,540	36,540	36,540	0	0

